

デンソー山岳部 2018年度 春山合宿報告書(仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳)

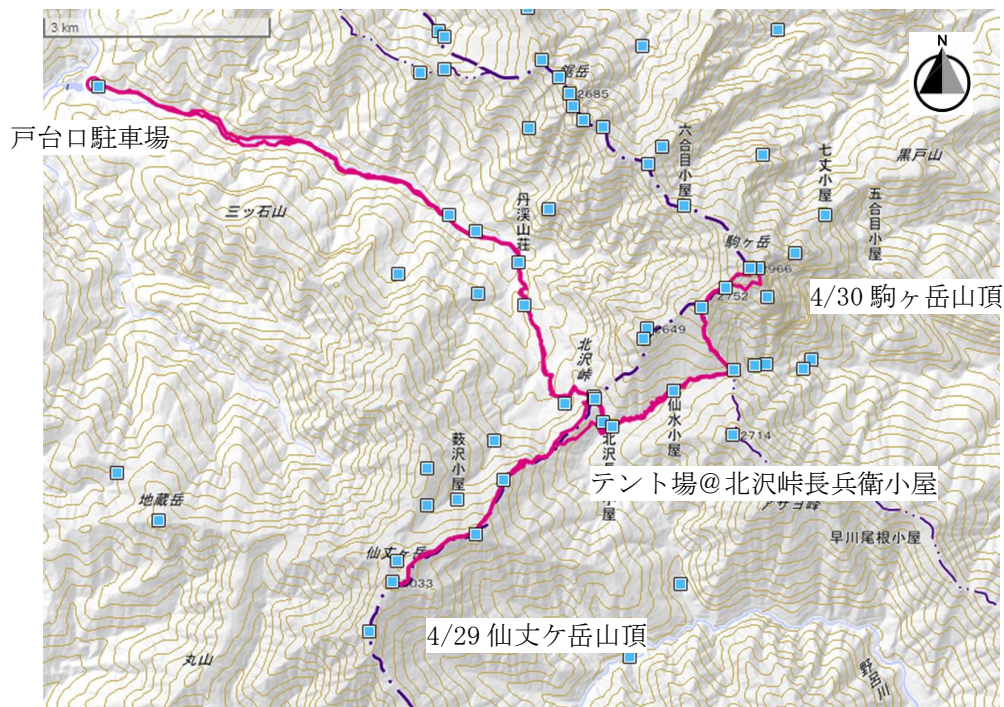
- 山城 南アルプス 仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳
- 日程 平成30年4月28日～5月1日
- メンバー 吉田明和(CL, 渉外, 気象)、鈴木芳則(SL, 食糧, 会計)、福岡道成(装備, 記録)



小仙丈ヶ岳から望む小仙丈カール



駒津沢から望む甲斐駒ヶ岳



ルート概要

第1日 : 4/28(土) 晴れ 行動=6H10M(休憩含む)

刈谷(04:30)→戸台登山口(07:50)→丹溪山荘(11:15)→北沢峠(13:45)→長衛小屋テント場(14:00)

4/28の早朝に集合。戸台口駐車場で、装備の最終チェックおよび振り分けを実施。装備に過不足ないことを確認し、戸台川の川原を登っていく。天候は快晴であり、気持ちが良い。時折、今回登頂する甲斐駒ヶ岳のピークが見える。雪は全くついていないように見える。今年はどうやら雪解けが早いようである。途中、旧道を歩いていたようで、メインルートに復帰すべく、徒渉場所を探すも、雪解けの影響か、靴を脱いで渡る必要があった。雪解け水は想像以上に冷たく、骨まで凍るような感じた。

八丁坂を登り終え、北沢峠 長兵衛小屋テント場にてテントを張った後、小仙丈カールを見上げる。仙丈ヶ岳には雪が残っている。明日以降の無事の登頂を祈り、ビールとコーヒーで乾杯した。(記:福岡)

第2日 : 4/29(日) 晴れ 行動=9H20M

(休憩含む)

長衛小屋テント場(5:20)→藪沢大滝ノ頭(7:31)
→小仙丈ヶ岳(12:03)→仙丈ヶ岳(11:02)→
小仙丈ヶ岳(12:03)→藪沢大滝ノ頭(12:33)
→長衛小屋テント場(14:40)

4:00起床。自分は、病み上がりで夜中に咳込みてよく眠れなかった。朝食は、雑炊にてお腹を満たした。支度を整え5:20出発。天気は快晴無風、気持ち良い、雪は全くない状態でのスタート。樹林帯をゆっくりと登って行く、4合目付近より積雪があり、途中でアイゼン装着し黙々と進む。

森林限界を超えると素晴らしい展望が開けた。気持ちいいはずの山行だが、鈴木は若干の体調不良で軽い高山病気味……。パーティの足を引っ張る。CLの判断で鈴木の荷物を残りのメンバに振り分け、チームとして山頂を目指すことになった。小仙丈ヶ岳に登頂小休止後、仙丈ヶ岳を目指しラストスパート、11:00仙丈ヶ岳登頂(写真1、2)。

下山では、藪沢大滝ノ頭で1本その後、スムーズに下山の予定であったが、前のパーティについていったら、登りのルートを外れていることに気づき間違えたところまで登り返すこととした(図1)。ルート外れた部分を確認後正しいルートで下山した。(記:鈴木)

第3日 : 4/30(月) 晴れ 行動=9H15M(休憩含む)

長衛小屋テント場(5:15)→仙水峠(6:30)→駒津峰(8:30)
→甲斐駒ヶ岳(10:25)→山頂出発(10:55)→仙水峠(13:30)
→長衛小屋テント場(14:30)

朝食を済ませテントの外へ出ると、所々雪化粧の小仙丈ヶ岳が静かに佇み、肌を感じる空気がひんやりとして気持ちの良い朝を迎えた。静観とした中で、鈴木さんを先頭にゆっくりとしたペースで歩き始めた。30分ほど歩くと仙水小屋に到着し、ボーリングで汲み上げられた湧き水を一杯頂く。口当たりが柔らかく美味しかった。仙水小屋から数分歩くと樹林帯を抜け岩場が現れた。岩の上をテンポよく歩き渡って行く。出発から1時間強で仙水峠に到着、見上げると左手に摩利支天、眼下には雲海が広がっており神秘的な光景であった。仙水峠で休憩した後、駒津峰に向けて登り坂をゆっくりと登っていく。仙水峠から暫く続いた樹林帯を抜



写真1:仙丈ヶ岳山頂にて



写真2:小仙丈ヶ岳手前の急登



図1:4/29ルート一部

けると左手に北岳・間ノ岳を間近で望むことができ、福岡君は感動してシャッターを切っていた。一方、鈴木さんは疲労の様子が伺えペースがゆっくりとなってきた、高山病のようだ。仙水峠から2時間登り続け、駒津峰に到着した。駒津峰から甲斐駒ヶ岳山頂に続くルートに目を向けるとほぼ雪のない状態であった。駒津峰から山頂に向かうルートは岩場をよじ登って行く直登コースを選択した。岩登りが好きな鈴木さんは高山病に苦しみながらも楽しんでいるようだ。いよいよ山頂に近づき、トップを歩く福岡君が振り向き「着いた！」と喜びの声を上げた。山頂では青空の下、360°の絶景を堪能した(写真3)。



写真3：甲斐駒ヶ岳山頂にて

山頂からの下山ルートはまき道を選択、登りでは使わなかったアイゼンを雪のついたトラバース箇所を使い、14:30に下山完了した。(記：吉田)

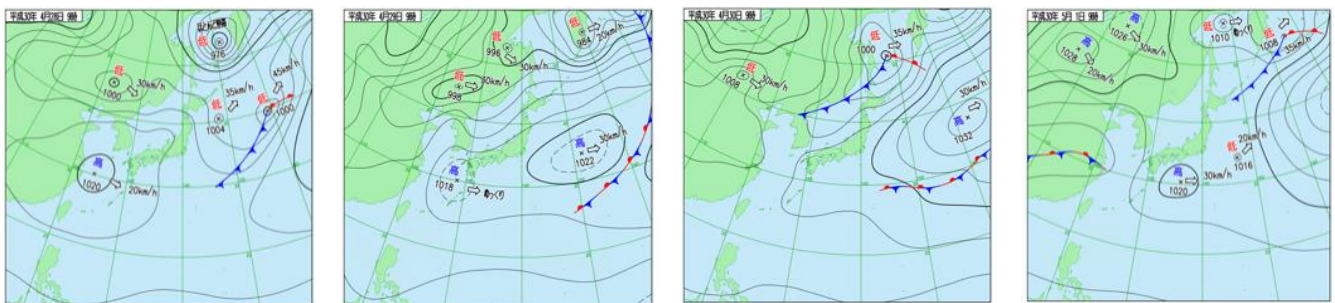
第4日：5/1(火) 晴れ 行動=6H20M(休憩含む)

長衛小屋テント場(5:30)→北沢峠(5:40)→丹溪山荘(6:40)→戸台登山口(09:10)→高遠温泉さくらの湯(10:10)→刈谷(19:00)

4:00起床。朝食、パッキングを終え、小仙丈ヶ岳と甲斐駒ヶ岳を見納め、テント場を後にする。八丁坂を軽快に下り、増水した影響か、2回靴を脱いで徒渉し、駐車場に着く。

【気象所見】

4日間とも晴天、歩くと汗ばむ気温であった。



【装備所見】

仙流荘からのバスが運休となっている影響か、残雪量が読めず、ザイルやテント内貼り等を現地判断したが、直前にHPや聞き込みから得た情報により、ザイル、内貼りは不要と判断した。

特に過不足なく、必要十分な装備を準備できたと考える。

【食糧所見】

日付	4/28(土)	4/29(日)	4/30(月)	5/1(火)
朝食	各自	雑炊	カうどん (どん兵衛 リフレ)	卵サンド
昼食	各自	各自	各自	
夕食	シーフード パエリア	カレー鍋、 メラーメン	親子丼	
その他	※おつまみ、ドリンク(コーヒー等)は各自準備 ※お酒は各自準備 ※行動食は各自で用意 ※非常食1食を各自持参			



写真1:後続パーティとシュルンド

- ・味付けには、鍋キューブをふんだんに使ったメニューとした。
- ・味の素の鍋キューブは、軽量、コンパクトで味の濃さをコントロールしやすく、山行に向いている。
- ・親子丼は、ほていの焼き鳥缶詰を使った簡単メニューのわりに美味しかった。

【会計報告】

合計 25200 円、1 人 8400 円

食料： 5100 円

テン場代： 4500 円

交通費： 15600 円

ガソリン代：6116 円(440km÷10×139)

高速代(行き)：3190 円

高速代(帰り)：4150 円

消耗費：2200 円(440km×5)

【リーダー所見】

晴天に恵まれ4日間登りやすい気候条件であったが、初日の重いザックを背負っての6時間歩行、2、3日目は共に9時間超の歩行で体力的には厳しい合宿であった。鈴木さん、福岡君は時折、自身の体力の限界に達することもあり、己の限界点を知る良い機会だったと思う。体力を持続させるコツは歩くペース配分、ザックの背負い方、行動食の取り方などいくつかあり、実践で学べたことを次回の合宿等に活かして自分なりの体力持続の技術を確立していくと、苦しみ少なくより楽しい山行を体験できると思います。

(吉田)

【メンバ感想】

3泊4日テント泊は初めてであり、食料担当であったためメニューをいろいろ考えるのが楽しかった。若干の体調不良であったためか山行中に高山病となり、メンバに助けてもらい申し訳ないと思いつつも登頂出来て良かった。また、行動食の採り方もCLより指導いただき今後の参考にしようと思います。何よりも天気にも恵まれ素晴らしい展望を満喫出来て良かった。(鈴木)

20kgを超える装備を北沢峠まで担ぎ上げることに不安があったが、体力作りの成果か、4日間を通して楽しく山を歩くことができました。さらに、エネルギーの取り方や、グループ登山のマナー、心得など、吉田さん、鈴木さんに教えて頂き、大変勉強になりました。メンバの吉田さん、鈴木さん、留守部員の方々に感謝申し上げます。(福岡)